

ID :

氏名 : 様

## 声帯ポリープ、ポリープ様声帯、声帯結節の手術に関する説明・同意書

## 1. 病名と現在の病状

診断名：（ みぎ  ひだり）声帯ポリープ、ポリープ様声帯、声帯結節

病状：嗄声

## 2. 計画される医療行為の名称と内容、日時、担当者

術式：顕微鏡下喉頭微細手術（ラリンゴマイクロサージェリー）

目的：声帯の病巣を取り除き、嗄声（声のかすれ）を改善する。

手術：全身麻酔で行います。

喉頭直達鏡（金属製の筒）を口内より挿入し手術を行うため、頸部に傷はつきません。

日時：

担当者：

その他、別紙「声帯ポリープ、ポリープ様声帯、声帯結節の手術に関する説明書」を使用して説明致しました。

私は上記の医療行為についてその必要性と内容、また、状況に応じた内容の変更、起こり得る危険性について説明致しました。

説明日 20 年 月 日

説明担当医師

同席者・確認者

私は上記の医療行為の説明を受け、実施に同意致します。

同意日 20 年 月 日

患者署名

家族等署名 (続柄： )

本人・家族が署名できない理由

職種  医師  看護師 氏名 \_\_\_\_\_

ID :

氏名 : 様

## 声帯ポリープ、ポリープ様声帯、声帯結節の手術に関する説明書

### 1. 計画される医療行為の必要性

手術をしない場合、改善は難しいと思われれます。  
このまま発声を続けると病変が悪化する可能性があります。

### 2. 実施後の経過と改善の見込み、予後

手術後の1週間は診察時以外は発声禁止となります。  
摘出した病変は病理検査に提出します。悪性の場合は他の専門病院での後療法が必要になります。  
手術だけで声が100%元に戻るとはいえませんが、また、発声しやすくなるのに多少時間がかかることもあります。（約3ヶ月間）  
煙草を吸ったり、声を酷使すると再発の可能性が高くなります。

### 3. 計画される医療行為の危険性

細心の注意を払って行いますが、不測の事態が起こる可能性があります。

- ・ 出血、疼痛、感染
- ・ 全身麻酔中のショック
- ・ 局所麻酔剤ショック
- ・ 肝機能障害、その他

### 4. 考えうる合併症

手術にあたっては細心の注意に努力を払いますが、種々の合併症が出現することがあります。

- ・ 出血、感染、疼痛、舌のしびれ、味覚障害、喉頭浮腫
- ・ 歯牙損傷（とくに差し歯や不安定な歯の場合）

### 5. この医療行為を行わなかった時の見込み

現状維持

### 6. 他に考えうる医療行為の名称・内容・危険性・改善の見込み

内服、ネブライザーによる現状維持

### 7. 同意を撤回される場合について

同意された場合でも、実施までの間はいつでも撤回することができます。  
また、その医療が継続して行われる場合にも、やめることができますが、やめることの影響について主担当医から十分な説明を受けた上でご判断をお願いいたします。

### 8. セカンドオピニオンについて

治療方針を決める上で主担当医以外の意見をお聞きになりたい方は、必要な資料や検査結果を用意しますので遠慮なくご相談ください。

ご不明な点がございましたら、主担当医までお問い合わせください。

連絡先：河北総合病院 電話：03-3339-2121（代表）